

# ひとつひとと通信

2020年5月23日発行

206号

「ひとつひと通信」は  
日々の出来事や、  
いつも読んでいたり、  
あればどうぞ」といって、

ございました。ピアノを教えてくれて……と感謝の言葉を述べました。男の子の挨拶は10分以上でした。男の子は必ずお届けになります。当然ですが無料です。

自分のとても大切な人、家族、両親友人、先生に今すぐにでも会って、感謝の言葉を伝えたくなるおススメの本です。

■大切さんに贈りた  
い24の物語

中山和義氏著

追伸、書き終えた後で気づいたのですが、「この物語は、以前にも紹介していました。すみません。(汗)

今だからこと

今年の糸島三都110キロourkeは、3月5日に中止を決定いたしました。その時はまさかここまで被害が出ていた。起きた事には意味がありましたが、偶然ではなく、必然だとしたら、いつたい。今日は何なのでしょう。できれば10年後に振り返った時、「あの時のコロナがあったから、今の私は、今の会社があるのだ」と言いたいのです。

その為にも、先の事を心配せず、今だからこそ出来る事をしたいと思っています。

こんちは！平川です。今年は残念ながら、お花見は出来ませんでした。お花見は幸せな気分になります。そこには健康があり、家族がいて、美味しい料理があり、気が合う友人がいて、笑いがある、自由な時間があります。自然がある、と幸せな気分になれる条件がそろっているからです。本当に大切なものは、無くて初めてその存在に気づきます。あることが当たり前では無いのです。感謝を忘れないようにしたい。その事をコロナウイルスは気づかせてくれました。そこで今回は、大切な人に今まで感謝を伝えたくなりました。それは「大切な人に贈りたい24の物語」。これは24話のストーリーからなる本です。その中から「授業」というお話をご紹介します。

『友人から良い話を聞きましたので紹介します。ある小学校に生まれつき、知能に問題のある男の子がありました。担任の先生は算数や

などと一緒に通信はお届けしています。当然ですが無料です。こんなにちは！平川です。今年は残念ながら、お花見は出来ませんでした。お花見は幸せな気分になります。そこには健康があり、家族がいて、美味しい料理があり、気が合う友人がいて、笑いがある、自由な時間があります。自然がある、と幸せな気分になれる条件がそろっているからです。本当に大切なものは、無くて初めて初めてその存在に気づきます。あることが当たり前では無いのです。感謝を忘れないようにしたい。その事をコロナウイルスは気づかせてくれました。そこで今回は、大切な人に贈りた

く求めました。男の子は必死に答えを出そうとするのですが、解けなくて、いつも他の子供達に突かれてしましました。しばらくして、この担任の先生が転任することになって、お別れ会が行われることになりました。先生にお別れの挨拶をする人を決めることがあります。「先生に一番、迷惑をかけたのだから、お前がやれよ」とクラスのみんなに言われて、無理やりにこの男の子が挨拶をさせられることになりました。お別れ会の当日、男の子が先生の前に立ったとき、クラスのみんなは笑いをこらえながら見つめました。男の子は先生の顔をじっと見つめると、「ぼくを普通の子どもと一緒に勉強させてくれて、ありがとうございました。放課後、つきつきで計算を教えてくれて、ありがとうございました。本を毎日、読んで聞かせててくれて、ありがとうございました。担任の先生は算数や

国語の時間、この男の子が答えを出せないことを分かっているのに、男の子に答えを出すように、厳しく求めました。男の子は必死に答えを出そうとするのですが、解けなくて、いつも他の子供達に突かれてしまいました。しばらくして、この担任の先生が転任することになって、お別れ会が行われることになりました。先生にお別れの挨拶をする人を決めることがあります。「先生に一番、迷惑をかけたのだから、お前がやれよ」とクラスのみんなに言われて、無理やりにこの男の子が挨拶をさせられることになりました。お別れ会の当日、男の子が先生の前に立ったとき、クラスのみんなは笑いをこらえながら見つめました。男の子は先生の顔をじっと見つめると、「ぼくを普通の子どもと一緒に勉強させてくれて、ありがとうございました。放課後、つきつきで計算を教えてくれて、ありがとうございました。本を毎日、

読んで聞かせててくれて、ありがとうございました。担任の先生は算数や

数学の時間、この男の子が答えを出せないことを分かっているのに、男の子に答えを出すように、厳しく求めました。男の子は必死に答えを出そうとするのですが、解けなくて、いつも他の子供達に突かれてしまいました。しばらくして、この担任の先生が転任することになって、お別れ会が行われることになりました。先生にお別れの挨拶をする人を決めることがあります。「先生に一番、迷惑をかけたのだから、お前がやれよ」とクラスのみんなに言われて、無理やりにこの男の子が挨拶をさせられることになりました。お別れ会の当日、男の子が先生の前に立ったとき、クラスのみんなは笑いをこらえながら見つめました。男の子は先生の顔をじっと見つめると、「ぼくを普通の子どもと一緒に勉強させてくれて、ありがとうございました。放課後、つきつきで計算を教えてくれて、ありがとうございました。本を毎日、

読んで聞かせててくれて、ありがとうございました。担任の先生は算数や

国語の時間、この男の子が答えを出せないことを分かっているのに、男の子に答えを出すように、厳しく求めました。男の子は必死に答えを出そうとするのですが、解けなくて、いつも他の子供達に突かれてしまいました。しばらくして、この担任の先生が転任することになって、お別れ会が行われることになりました。先生にお別れの挨拶をする人を決めることがあります。「先生に一番、迷惑をかけたのだから、お前がやれよ」とクラスのみんなにと言われて、無理やりにこの男の子が挨拶をさせられることになりました。お別れ会の当日、男の子が先生の前に立ったとき、クラスのみんなは笑いをこらえながら見つめました。男の子は先生の顔をじっと見つめると、「ぼくを普通の子どもと一緒に勉強させてくれて、ありがとうございました。放課後、つきつきで計算を教えてくれて、

読んで聞かせててくれて、ありがとうございました。担任の先生は算数や